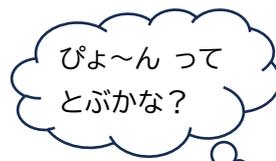


# 令和5年度のあゆみ（活動報告）

## ひだ難聴乳幼児教室



### ◇みみっこ教室（月1回の異年齢小集団活動）

- ・0～5歳児親子が集まって、伝わり合うことを大切に、体操や手遊び、季節の活動（絵本、歌、製作、再現遊び等）を行いました。

	体操	手遊び	季節の活動	参加親子
5月	ぴかぴかぴー	とんとんとんとん あんぱんまん	こいのぼり	2組
6月			かえる	2組
7月			かたつむり	2組
9月	からだだんだん	いっぽんばし こちょこちょ	すいか	3組
10月			さつまいも	2組
11月			おおきなかぶ	2組
12月			さんたくろーす	4組
1月	ぺんぎんさんの やまのぼり	てぶくろ まめまき あぶくたった	てぶくろ	4組
2月			まめまき	2組
3月			あぶくたった	中止



かえる（6月）



せーの  
ぴよん！



ままごと（年間）



てぶくろ（1月）

### ◇保護者教室（年5回）

6月	言葉の発達について
7月	先輩保護者の話を聞く会
8月	難聴乳幼児の育ち
12月	心と言葉を育む
2月	先輩保護者と語ろう会



- ・2月「先輩保護者と語ろう会」では、みみっこ教室参加の保護者と、みみっこ教室を終了した小学生のお子さんがある保護者が集まり、子育てや兄弟姉妹のこと、園や療育、小学校のこと、乳幼児期に親子で取り組んでよかったこと（先輩保護者より）、災害時への対策について等、お互いの悩みや疑問を聞いて語り合いました。

## 保育園、小学校、中学校、高等学校等への訪問支援

保育園や療育機関（就学前の乳幼児）へ12回、小学校へ15回、中学校へ3回、高等学校へ1回の訪問支援を行いました。

保育（療育）参観や授業参観で普段の様子を見せていただき、先生や保護者、本人と懇談したり、理解啓発授業「きこえにくいってどんなこと？」（6校11学級）や、職員研修「きこえにくさへの理解と支援」（2校）等を行いました。

理解啓発授業で難聴体験をした子どもたちは、「いつ返事をしているのか分からなくて困った。」「みんなが笑っている時に聞こえにくいと、自分の事を言われているのではないかと感じて不安になった。」「これからは顔を見て話したい。」等、聞こえにくい友達の気持ちを想像して、自分の生活に活かそうとします。難聴児の在籍する学校や学級だけでなく、4年生の福祉の学習（総合的な学習の時間）としても実施できますので、お気軽にお問い合わせください。



ロジャーを通しての音を聞きながらの体験型研修会

## 聴覚障がい学習会

◇令和5年5月19日（金） ロジャー研修会

講師：ソノヴァ・ジャパン株式会社 林 邦広 様

◇令和5年7月25日（火） 飛驒特別支援学校聴覚障がい学習会（先輩保護者の話を聞く会）

演題：『子どもの成長に伴う保護者の役割』

講師：難聴児を育てた保護者（飛驒地域）

◇令和5年8月23日（水） 岐阜聾学校夏季研修会サテライト会場（飛驒特別支援学校）

演題：『聴覚障害者の就労をめぐる ～就労支援現場からお伝えしたいこと～』

講師：大阪ろう就労支援センター 理事長 前田 浩 氏

◇令和5年8月24日（木） 飛驒特別支援学校聴覚障がい学習会（乳幼児期対象学習会）

演題：『難聴乳幼児の育ち ～乳幼児期に大切にしたいこと～』

講師：岐阜大学 助教 鈴木 祥隆 先生

◇令和5年12月27日（水）

演題：『心と言葉を育む』 飛驒特別支援学校聴覚障がい学習会

講師：信州大学 特任教授 庄司 和史 先生

◇令和5年11月29日（水）、12月13日（水）、令和6年1月10日（水）

飛驒特別支援学校聴覚障がいWeb学習会（支援従事者対象学習会）

演題：『聞こえるけれど聴き取れない子どもたち

～聞き取り困難（LiD）/聴覚情報処理障害（APD）の理解と支援～』

講師：東海学院大学 講師 小川 征利 先生

難聴児の家族、園や療育機関、小中学校の先生等、多くの方に参加していただきました。

R6年度も、聴覚障がいに関わる学習会を実施します。詳細はHPに掲載しますので、お問い合わせください。